

【LPガス検針自動化に向けて】中部電力と基本協定を結びました。

LPガスの自動検針サービスで基本協定

エネジンと中部電力

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）と中部電力は一日、中電グループのスマートメーター（次世代電力計）向け通信網を活用したLPガスの自動検針サービスの開始に向けた基本協定を締結した。

エネジンは来春以降、家庭や企業のメーターに通信端末を設置。中電のスマートメーター通信網に接続させ、検針やガス漏れなどのデータ収集や、スマートメーターの遠隔制御を実施する。

この度、エネジン(株)ではLPガス検針の無人・自動化を進めていくため、中部電力と自動遠隔検針サービス導入を目的とした基本協定を結びました。

高頻度の情報伝達ができるため、より業務の効率化と安全性向上がされ、お客様に向けた新サービスへの提供に繋がっていくことができます。県内の6万件のお客様のうち、約3万件の導入を目指します。

令和3年(2021年)6月2日(水)

中日新聞掲載